

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

グループビジョン

お客様と生活者をつなぐ架け橋として、豊かで可能性の広がる社会を創造する

② 中長期の経営戦略

1. Data+Technology企業へ…

MI・BIの単体機能からMIとBIを融合させたサービス提供へ。社会的
ロスをなくし便利で豊かな社会を実現

3. NTTドコモとのシナジー推進

セールス連携・データ連携によるシナジー実現。既存領域からマー
ケティング支援以外への事業ドメイン拡張

2. 事業ポートフォリオの最適化

基幹事業と成長事業を明確化。経営資源の最適配分で中長期成長が
見込まれる事業への資源配分を推進

4. マーケティング支援事業の拡大

国内は既存事業伸長とドメイン拡張。海外は黒字化体制構築とアジ
ア拠点グローバル展開を推進

③ 対処すべき課題

① 経営環境の変化への対応

- ・ 米国通商政策の影響による景気下振れリスク対応
- ・ 物価上昇が個人消費に及ぼす影響への対策
- ・ 社会情勢変化による生活者の意識・ライフスタイル変化への対応

② 長期的な社会構造変化への対処

- ・ 少子高齢化・人口減少・労働人口減少への対応
- ・ テクノロジー創造と破壊のサイクル短期化への対応
- ・ 社会・産業構造変革の加速への対応

③ 組織基盤とサステナビリティの強化

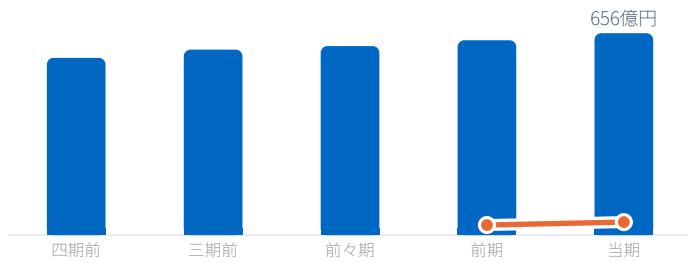
- ・ グループ総合力向上のための最適フォーメーションへのシフト
- ・ 人的資本を始めとした非財務資本増加の施策実施
- ・ コーポレートガバナンス推進とセキュリティ遵守の徹底

面接で使えるポイント

- ・ THE INTAGE GROUP WAYの5つの行動指針で、最適を探求し品質にこだわり責任を全うする姿勢が企業文化の基盤
- ・ 2030年展望を見据えたData+Technology企業化とNTTドコモとのシナジー推進で…
- ・ MI・BI融合、ヘルスケア・BI事業の強化を通じて、お客様の課題解決支援から新たな価値発揮創出を目指す成長戦略

証券コード 4326

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
656億円営業利益率
6.5%財務健康度
66点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 64.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
897万円

情報・通信業内 56位/592社

平均年齢
48.6歳

情報・通信業内 19位/593社

平均勤続
14.4年

情報・通信業内 42位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: インテージホールディングスとNielsenIQ、日本およびグ

